

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング (2 1) 」

2. 日 時 : 令和 4 年 2 月 2 5 日 (金) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分

3. 場 所 : 原子力規制庁 1 0 階会議室 (TV 会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

小澤安全管理調査官、石井企画調査官、中野上席安全審査官、野村主任安全審査官、田中管理官補佐、有田安全審査官、尾崎安全審査専門職、田口安全審査専門職、内海安全審査専門職、鈴木安全審査専門職、川村安全審査専門職、赤石原子力規制専門員

専門検査部門

早川上席原子力専門検査官、千葉主任原子力専門検査官

長官官房 技術基盤グループ 地震・津波研究部門

吉村技術参与

リサイクル燃料貯蔵株式会社

赤坂常務取締役 他 1 1 名

東京電力ホールディングス株式会社

輸送技術グループマネージャー

日本原子力発電株式会社

炉心・燃料サイクルグループ担当

5. 要旨

(1) リサイクル燃料貯蔵株式会社 (以下 「 RFS 」 という。) から、使用済燃料貯蔵建屋受入れ区域の耐津波評価について、資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について伝えた。

- ・ 事業許可では使用済燃料貯蔵建屋受入れ区域の損傷を仮定し、天井クレーンの落下を想定しているが、事業許可での想定を踏まえて詳細設計を行った結果、受入れ区域の損傷がどの程度になるのか説明すること。

(3) RFS から、上記のコメントに対し、早期に回答できるよう準備を進める旨の回答があった。

参考

※ 令和4年2月22日「サイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に関する資料提出」